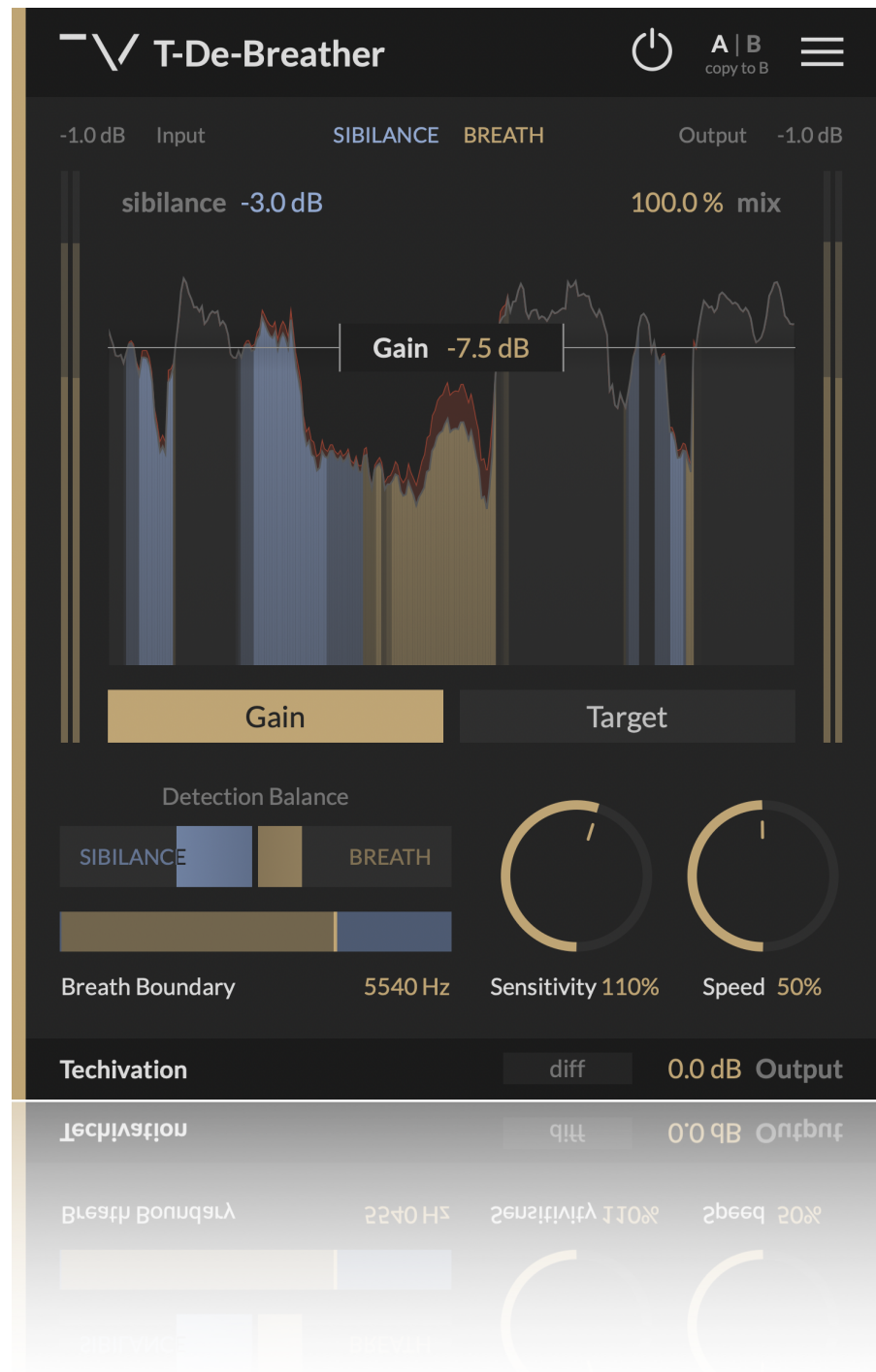




Techivation T-De-Breather

ユーザーマニュアル





Techivation T-De-Breather

概要

T-De-Breatherは、ボーカルやセリフ向けの、柔軟性に富んだゼロレイテンシーの呼吸音除去オーディオプラグインです。

呼吸音のレベルを手作業で下げる作業は、音楽プロデューサーにとっても、セリフ編集者にとっても、面倒で時間のかかる作業です。**T-De-Breather**はこの作業をシームレスに自動化すると同時に、検出アルゴリズムを詳細に制御できるため、あらゆる呼吸音を確実に捕捉できます。また、ゼロレイテンシー動作により、**T-De-Breather**をライブで使うことも可能です！

これは、**T-De-Breather**のハイブリッドオーディオエンジンによって実現されています。このエンジンは、高度なアルゴリズムによるオーディオ分析と、再帰型ニューラルネットワーク（RNN）を用いたリアルタイムの予測機能を組み合わせたものです。呼吸音は、その固有のスペクトルおよび時間領域の特性に基づいて識別されるため、検出プロセスは音量にまったく依存しません。**T-De-Breather**は、呼吸音がどれほど大きくても小さくても、それを抑制することができます。

息音とシビランス（歯擦音）の区別は微妙な場合があるため、**T-De-Breather**は両方を検出し、そのバランスを自由に調整できるようにしています。息音をコントロールしつつ、シビランスを抑えることで、クリアで一貫性のあるボーカルを実現します。



Techivation T-De-Breather

特長

- Target Mode
- Gain Mode
- Target
- Gain
- Detection Balance
- Breath Boundary
- Sensitivity
- Speed
- Sibilance
- Mix
- Diff
- Output
- Internal On-Off Switch
- Presets
- A/B Switch
- Undo-Redo Options
- Scaleable Graphic User Interface (GUI)
- Show/Hide Tooltips
- Internal Menu
- Stereo and Mono



Techivation T-De-Breather

特徴

Gain Mode ゲインモード

T-De-Breatherには、絶対値ベースの「Gain」モードと、相対値ベースの「Target」モードという2つの呼吸音抑制モードが用意されています。

「Gain」モードでは、プラグインはレベルに関係なく、すべての呼吸音に対して一定のゲインリダクションを適用します。抑制量は「Gain」スライダーで設定します。

「Gain」モードでは、呼吸の本来のダイナミクスが保たれます。大きな呼吸音は小さな呼吸音よりも大きなままですが、全体としては静かになります。このモードは、クリアで録音状態の良い演奏を処理し、低～中程度の抑制量を使用する場合に、より自然な音に仕上がります。

「Gain」モードでのT-De-Breatherの動作は、レベルに全く依存しません。「Gain」モードでT-De-Breatherの前にゲインステージングを調整しても、処理結果は変わりません。





Techivation T-De-Breather

特徴

Target Mode 「ターゲットモード」

「Target」モードでは、呼吸音は「Target」スライダーで設定された目標出力レベルまで抑制されます。「Target」レベルを超える呼吸音は、このレベルまで減衰されます。「Target」レベルを下回る呼吸音は、そのままの状態が残されます。

「Target」モードのT-De-Breatherは、呼吸の音量に応じて抑制量を動的に調整します。大きな呼吸音ほど強く減衰され、静かな呼吸音ほどゲインの低減は少なくなります。このモードは、持続的なアンビエンス（例えば残響や背景ノイズなど）を含む録音の処理や、高い抑制量を使用する場合に、より自然な音質を実現します。また、ライブの会話処理、特に複数の話者を同時に処理する場合にも推奨されるモードです。

「Target」モードでは、呼吸音の絶対出力レベルが設定されます。そのため、適用される抑制の量は、プラグインの入力に到達するレベルによって決まります。「Target」モードでT-De-Breatherの前のゲインステージングを調整した場合は、「Target」スライダーの値を再調整する必要があります。





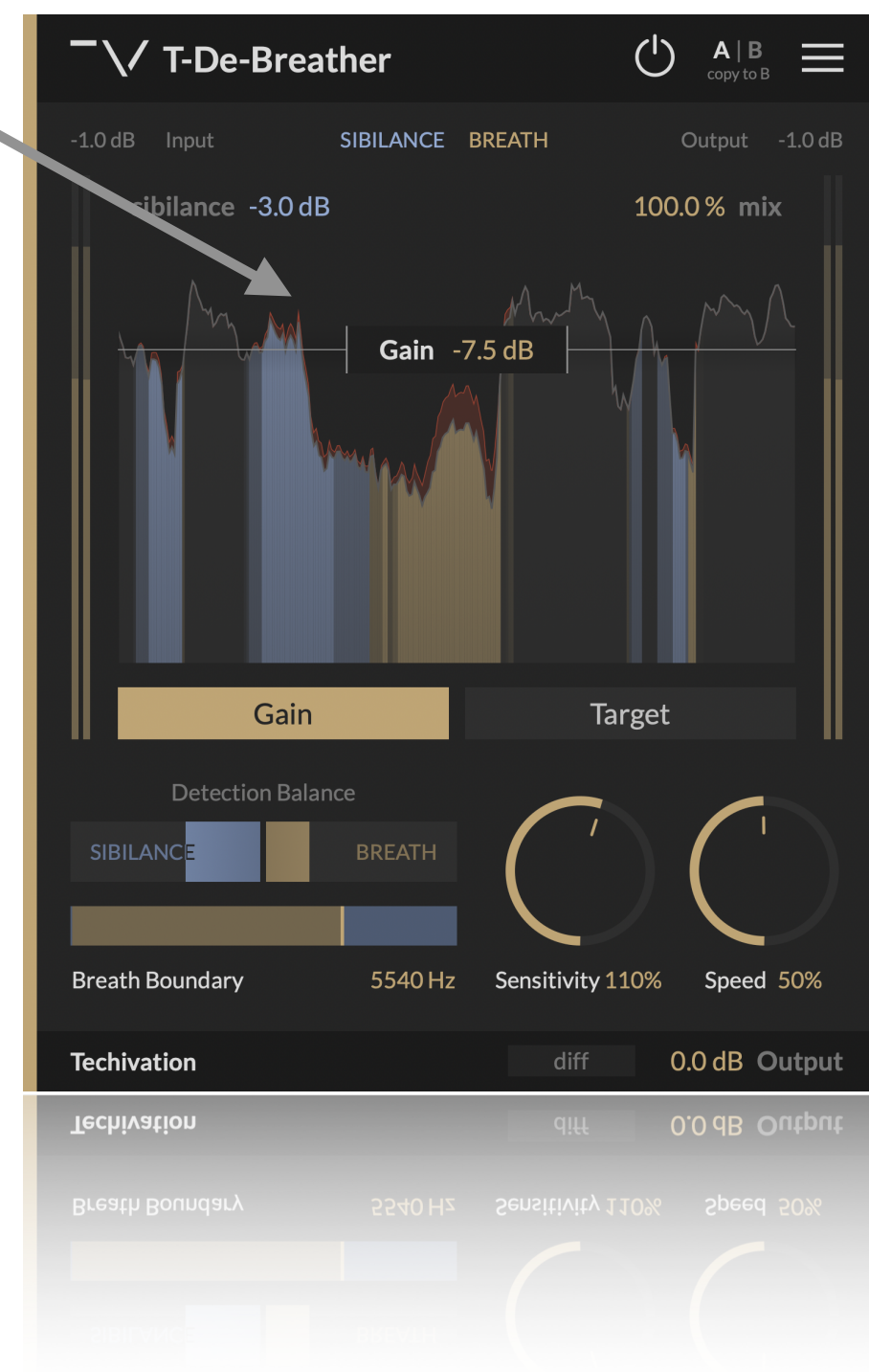
Techivation T-De-Breather

特徴

Waveform Display 波形表示

「Waveform display」では、呼吸音やシビランス（歯擦音）の検出状況に加え、適用された抑制量もリアルタイムで表示されます。呼吸音やシビランスとして認識されなかった出力信号は灰色で表示されます。呼吸音の検出箇所は金色で、シビランスの検出箇所は青色で強調表示されます。オーディオに適用されたゲイン低減量は赤色で表示されます。

波形表示機能を使用すると、「Target」モードにおいて、呼吸の「Target」出力レベルを正確に設定することができます。また、この表示により、「Speed」パラメータが抑制の開始に及ぼす影響も明確に視覚化されます。





Techivation T-De-Breather

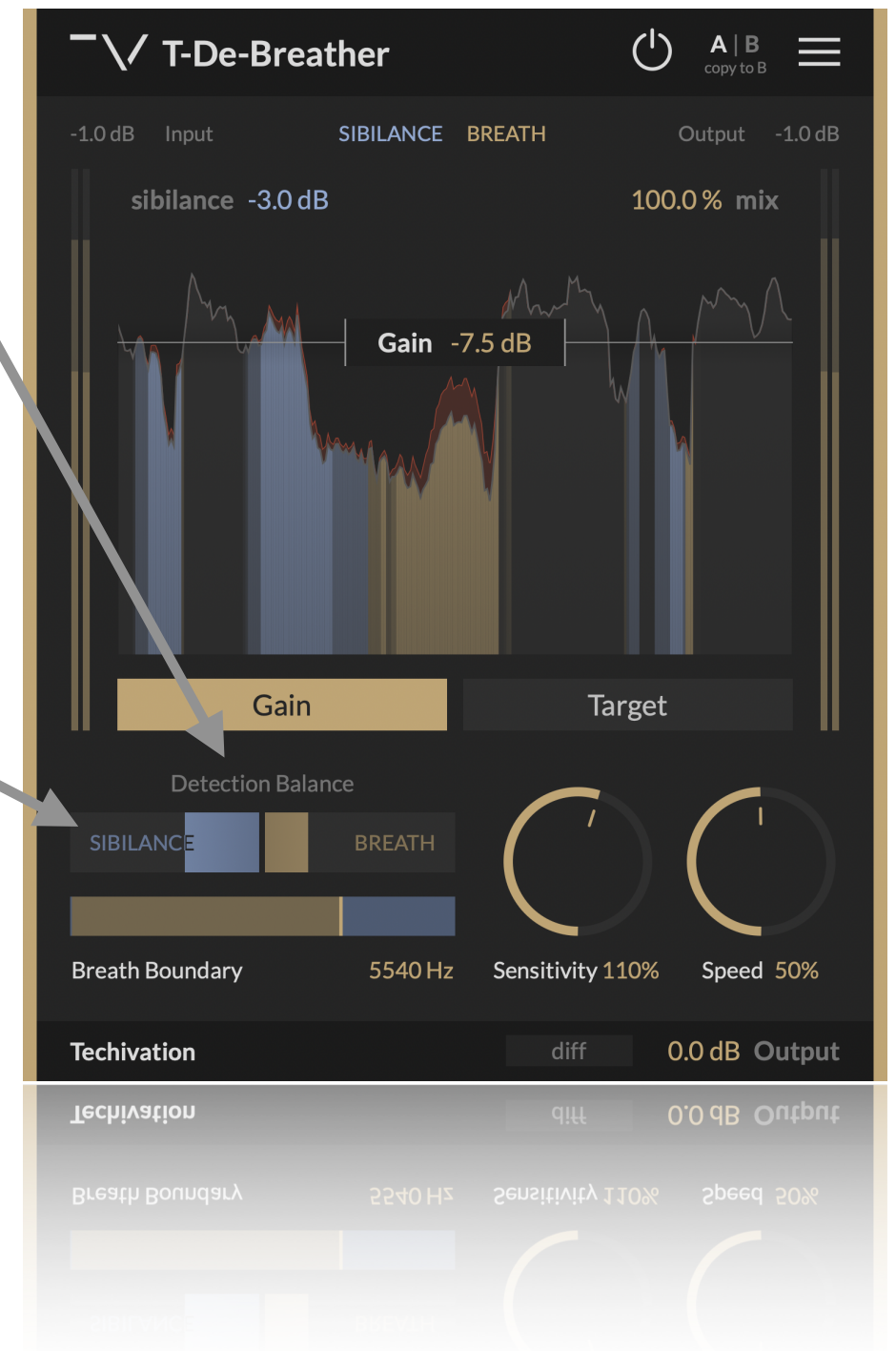
特徴

Detection Balance 検出バランス

「Detection Balance」セクションでは、
T-De-Breatherが呼吸音とシビランス音をどのように区別
するかを微調整することができます。

Detection Meter 検知計

「Detection Meter」を使用して、プラグインが現在の入
力をどのように識別しているかをリアルタイムで確認でき
ます。息音を検知すると、メーターの右側が金色に染ま
ります。シビランスを検知すると、メーターの左側が青
色に染まります。





Techivation T-De-Breather

特徴

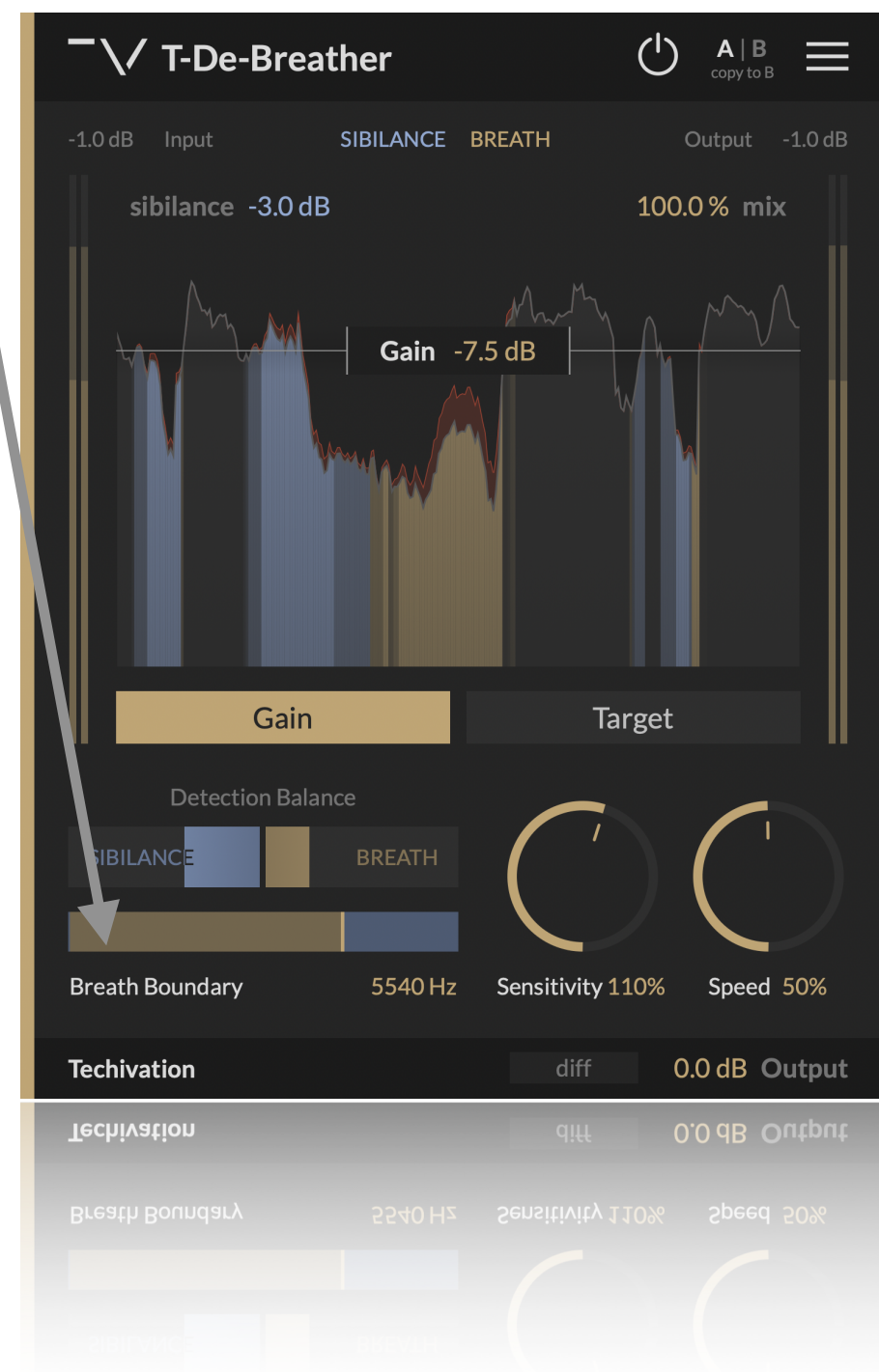
Breath Boundary 呼吸の境界

メーターの下にある「**Breath Boundary**」スライダーは、**T-De-Breather**が検出結果を「呼吸」か「シビランス」のどちらに分類するかを調整します。この周波数以下のスペクトルエネルギーは「呼吸」の検出に寄与し、それ以上の周波数のエネルギーは「シビランス」の検出に寄与します。

「**Breath Boundary**」の値を大きくすると、より多くの検出が呼吸として識別されます。値を小さくすると、より多くの検出がシビランスとして識別されます。

デフォルトの「**Breath Boundary**」値である 3800 Hz であれば、一般的なボーカルにおいて、息音とシビランスを適切に区別できるはずです。一部の息音がシビランスとして検出される場合は、「**Breath Boundary**」の値を上げてください。一部のシビランス音が息音として認識される場合は、「**Breath Boundary**」の値を下げてください。

非常に明るいボーカルの場合は通常、「**Breath Boundary**」の値を 3800 Hz 以上に上げる必要がありますが、非常に暗いボーカルの場合は 3800 Hz 未満に下げる必要がある場合があります。





Techivation T-De-Breather

特徴

Sensitivity 感度

「Sensitivity」は、T-De-Breatherが呼吸やシビランスとして識別できるものを判断する際の感度を制御します。

「Sensitivity」の値を100%以上に設定すると、より多くの音声データが処理されるため、検出されなかった呼吸を捕捉しやすくなります。

「Sensitivity」の値を100%未満に設定すると、検出数が減り、誤検出を排除することができます。

Speed 速度

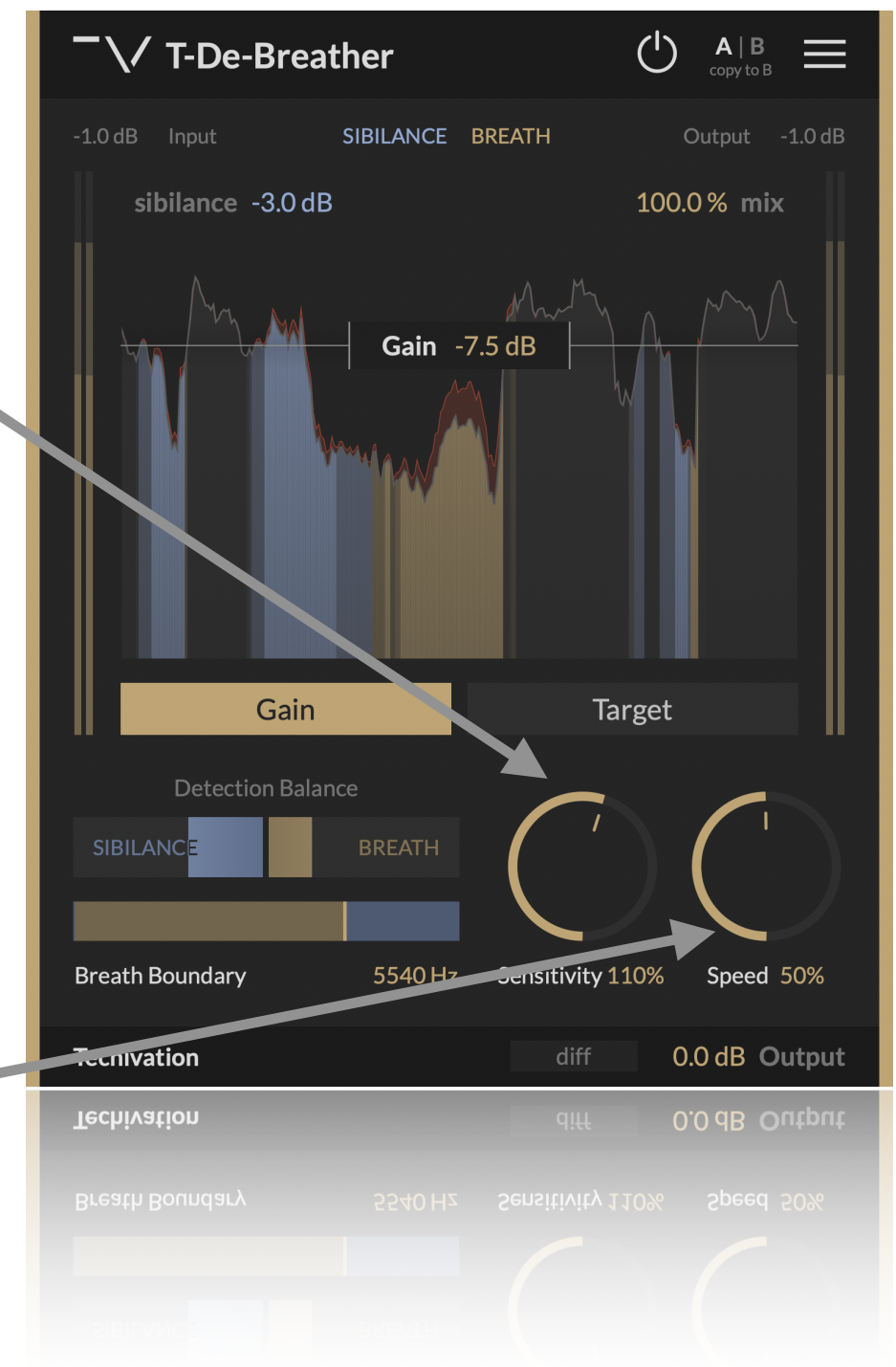
「Speed」は、呼吸抑制が作動する速さを制御します。

「Speed」の値を高く設定すると、ゲートのような素早い呼吸の減衰が得られます。

「Speed」の値を低く設定すると、抑制の開始が遅くなり、呼吸の一部を通すことで、より穏やかで自然な効果が得られます。

「Speed」コントロールは、呼吸音抑制のダイナミクスにのみ影響します。

「Sibilance」コントロールによるシビランス低減の挙動には影響しません。





Techivation T-De-Breather

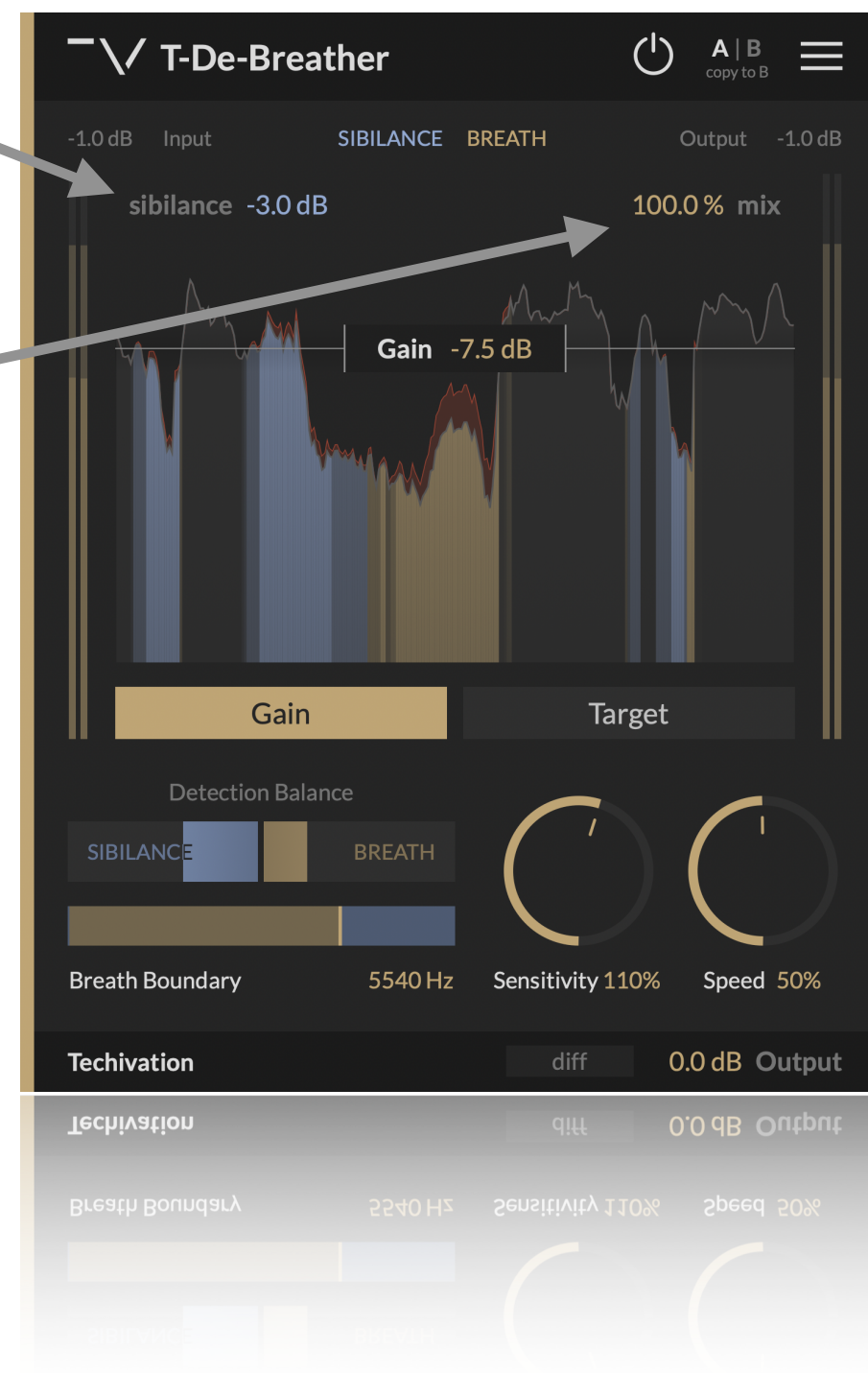
特徴

Sibilance シビランス

「Sibilance」は、シビラント音の余韻部分にかかる減衰量を設定します。このコントロールを使用して、シビラント音を抑制し、そのエネルギーを低減させます。

Mix ミックス

「Mix」コントロールは、処理済み信号と元の信号をブレンドし、パラレル処理を素早く行えるようにします。





Techivation T-De-Breather

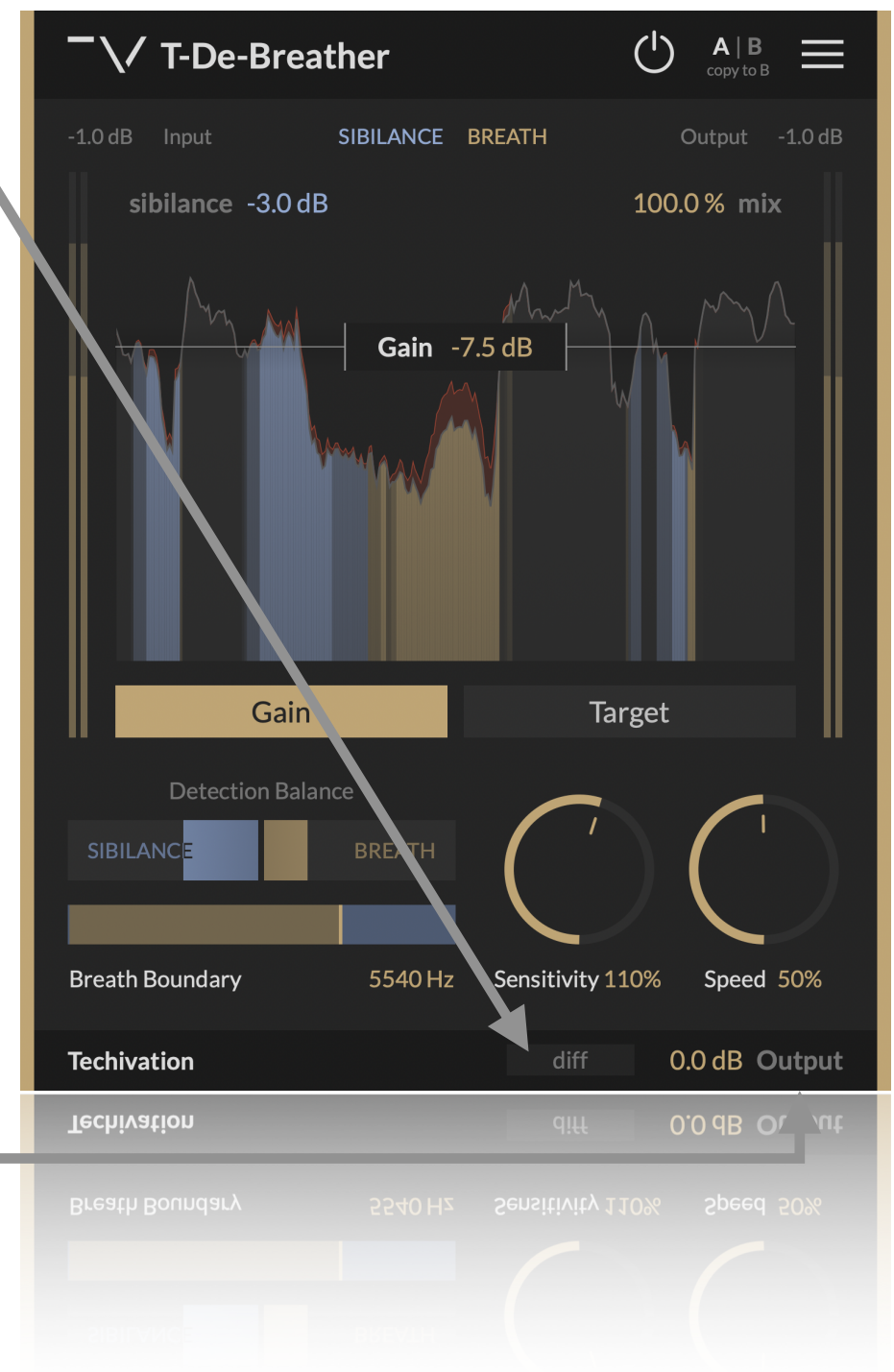
特徴

Diff 差分

「Diff」を使用すると、処理後の信号と元の信号の違いを聴き比べることができます。この機能を有効にすると、プラグインによって抑制された息音とシビランスだけが出力されます。これは、T-De-Breatherの「Breath Boundary」および「Sensitivity」パラメータを設定する際に役立ちます。

Output 出力

Outputは、処理された信号に適用されるクリーンゲインの量を制御します。





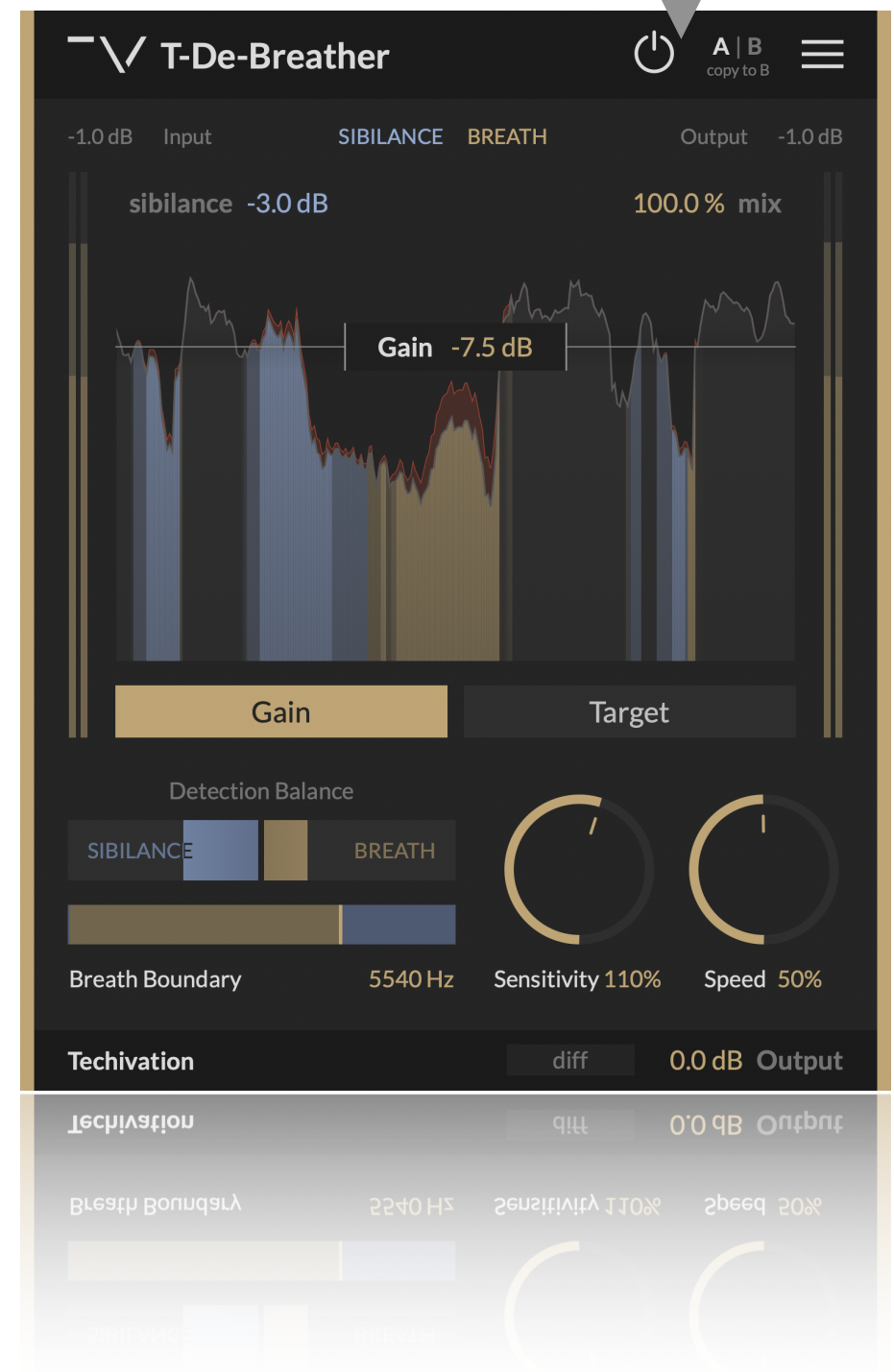
Techivation T-De-Breather

特徴

A | B Comparison AとBの比較

「A|B」ボタンを使えば、さまざまなオプションを比較し、オーディオ処理のニーズに最適な設定を簡単に見つけることができます。クリックするだけで、同じ処理チェーンの2つのバージョンを簡単に切り替えて、結果を比較することができます。さらに、「Copy A to B」および「Copy B to A」機能を使えば、一方のバージョンからもう一方のバージョンへ設定をコピーしてその効果を比較することで、細かい微調整を素早く試すことができます。

「A|B」ボタンと「Copy」機能を組み合わせて使用することで、処理の微妙な違いを効率的に評価し、最適なアプローチについての的確な判断を下すことができます。この合理化されたワークフローにより、時間と労力を節約でき、技術的な細部にこだわることなく、ミックスのクリエイティブな側面に集中することができます。





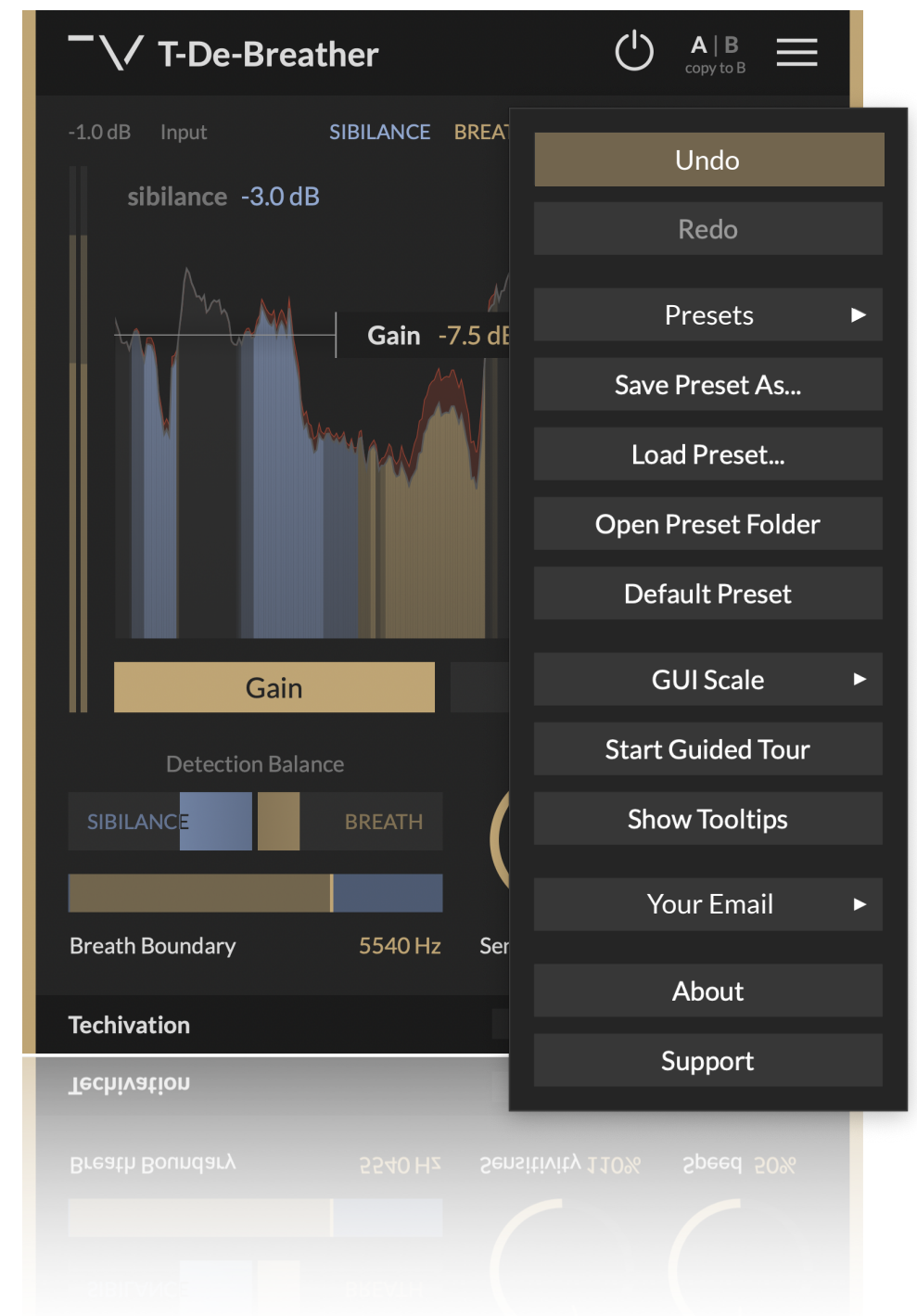
Techivation T-De-Breather

特徴

Plug-in Menu プラグインメニュー

便利な機能の概要:

- Undo
- Redo
- Presets
- Save Preset As...
- Load Preset...
- Open Preset Folder
- Default Preset
- GUI Scale
- Start Guided Tour
- Show/Hide Tooltips
- [Your email]/Sign in
- About
- Support





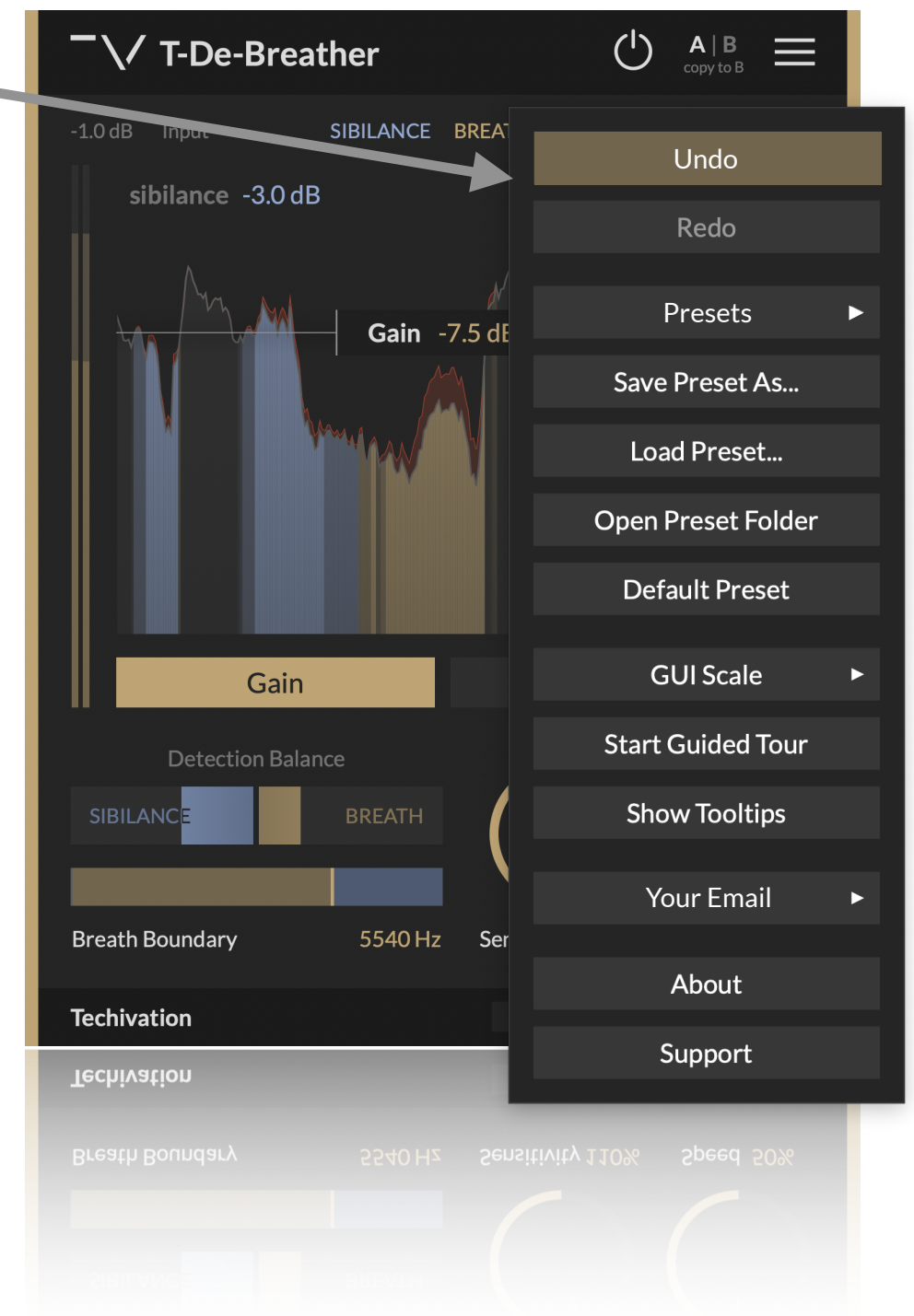
Techivation T-De-Breather

特徴

Undo/Redo 元に戻す / やり直し

元に戻す / やり直し M-Leveller プラグインには、便利な「Undo」および「Redo」機能が組み込まれており、オーディオ処理作業中の安心感をさらに高めます。これらの機能を使えば、以前の設定に簡単に戻したり、誤って行った変更をやり直したりできるため、時間を節約できるだけでなく、貴重な調整内容が失われてしまうかもしれないというストレスも解消されます。

「Undo」と「Redo」の機能を使えば、オーディオを永久に変更してしまう心配なく、さまざまな設定や構成を試すことができます。さらに、この機能により、処理の過程を効率的に遡って別の処理方法を検討できるようになるため、ワークフローが向上し、オーディオ制作においてよりの確な判断を下せるようになります。





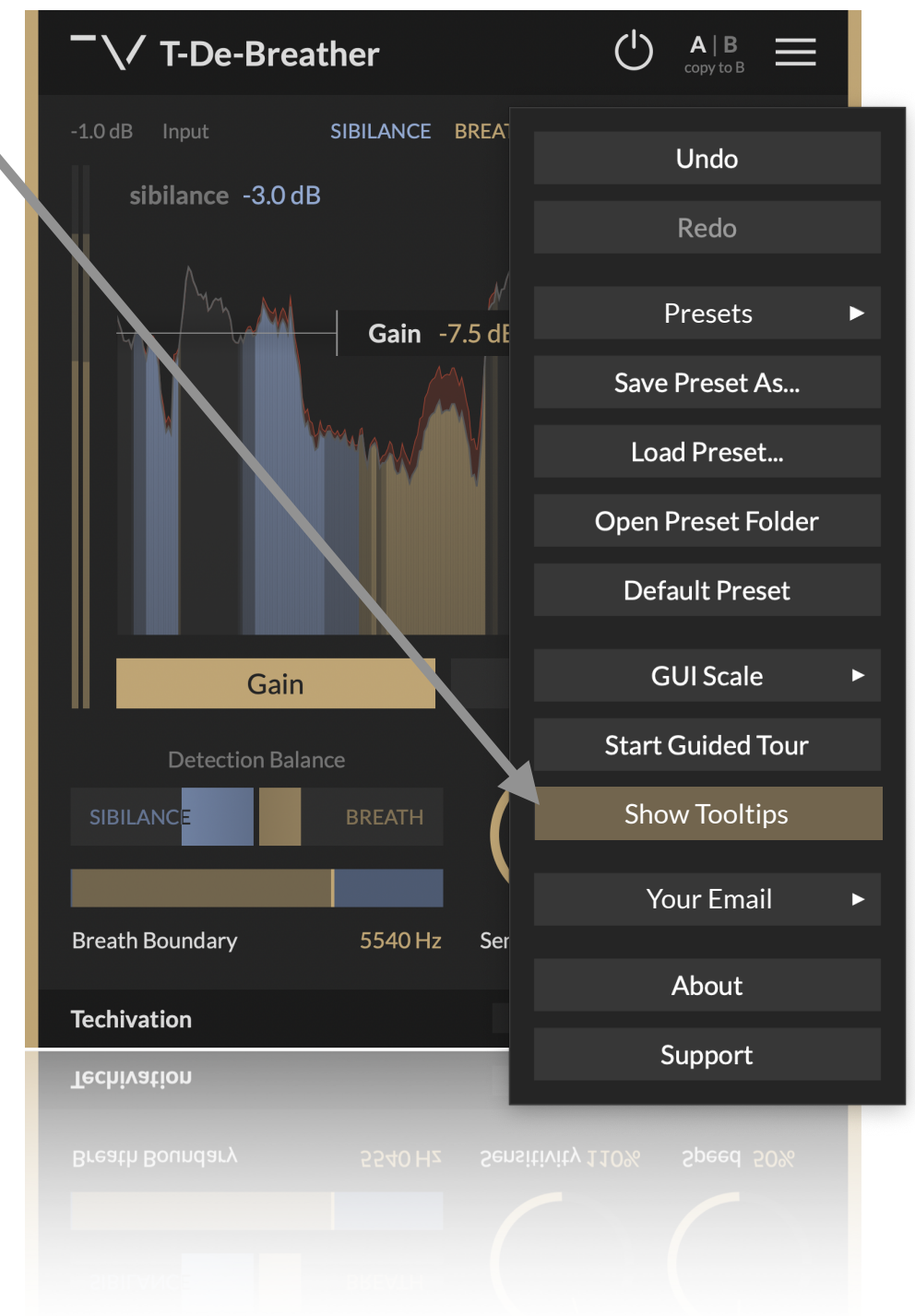
Techivation T-De-Breather

特徴

Tooltips ツールチップ

T-Breather には、プラグインのメニューから有効または無効にできる便利な「**tooltips**」オプションが搭載されています。このオプションを有効にすると、ユーザーインターフェースの各部分にマウスを合わせているだけで、その部分の簡単な説明が表示されます。ツールチップは、プラグイン内のさまざまなコントロールや設定について素早く理解するための優れた手段であり、インターフェースの操作や効果的な活用を容易にしてくれます。

各パラメータの機能、設定範囲、オーディオ信号への影響など、役立つ情報を表示してくれます。ツールチップ機能を有効にすることで、ワークフローを効率化し、M-Levellerプラグインの操作をよりスムーズに行うことができます。特定のコントロールの機能がわからない場合は、その上にマウスを合わせれば、簡潔で有益なツールチップが表示されます。





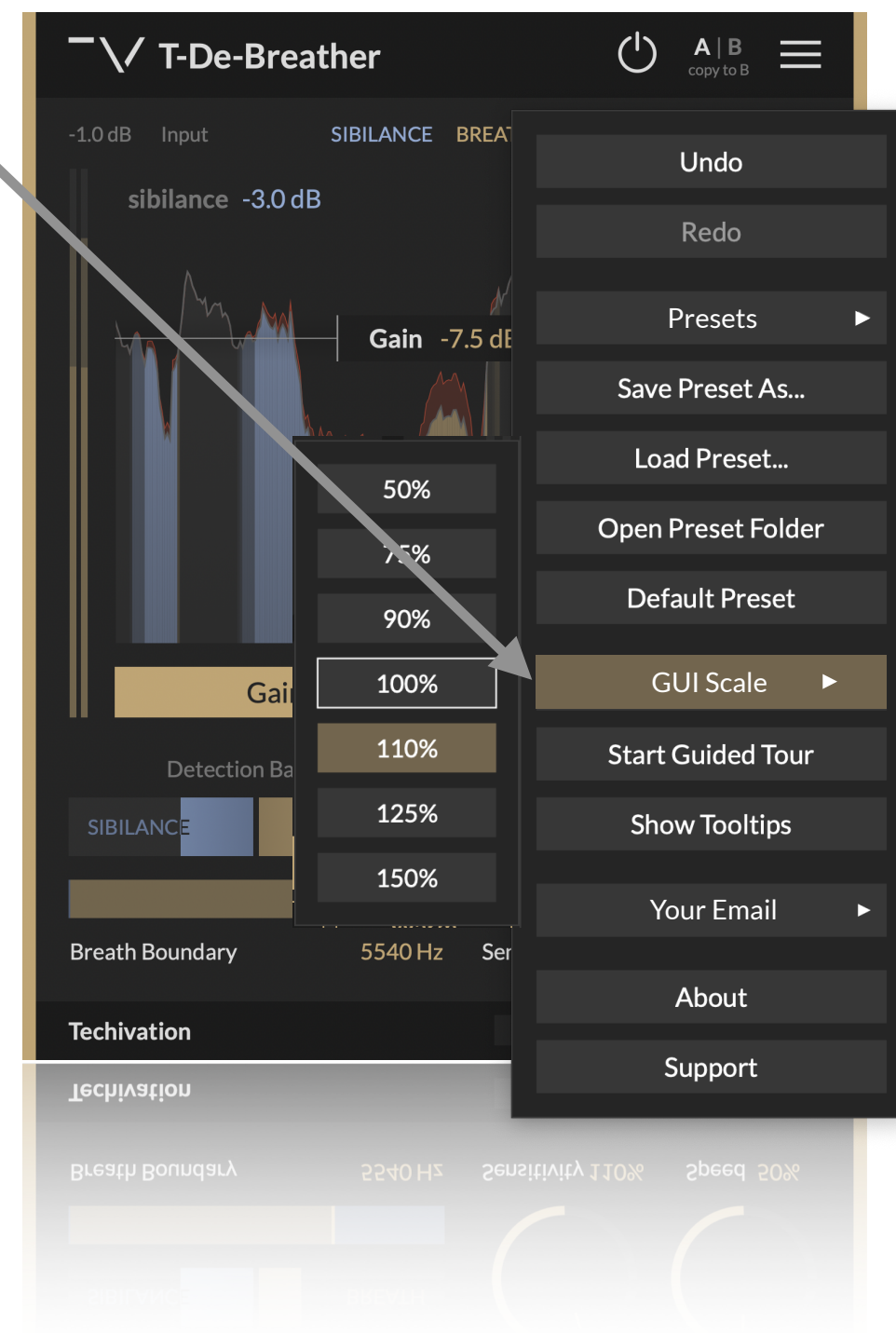
Techivation T-De-Breather

特徴

GUI Scale GUIのスケール

T-De-Breatherのインターフェース拡大・縮小機能を使用すると、好みに合わせてGUIのサイズをカスタマイズし、ワークフローを最適化することができます。50%から150%までの幅広い拡大・縮小オプションが用意されており、自分の視覚的好みや作業スタイルに合わせてインターフェースをカスタマイズできます。この機能の大きな魅力の一つは、選択した拡大・縮小率にかかわらず、プラグインの表示品質が一貫して維持されることです。これにより、好みの表示サイズに合わせて拡大・縮小しても、インターフェースが明確で読みやすい状態が保たれます。さらに、

T-De-Breather
のインターフェース拡大・縮小機能は、Retinaディスプレイを含むハイエンド品質のモニター向けに最適化されており、さまざまなデバイス上でプラグインが見栄え良く、かつ確実に動作することを保証します。





Techivation T-De-Breather

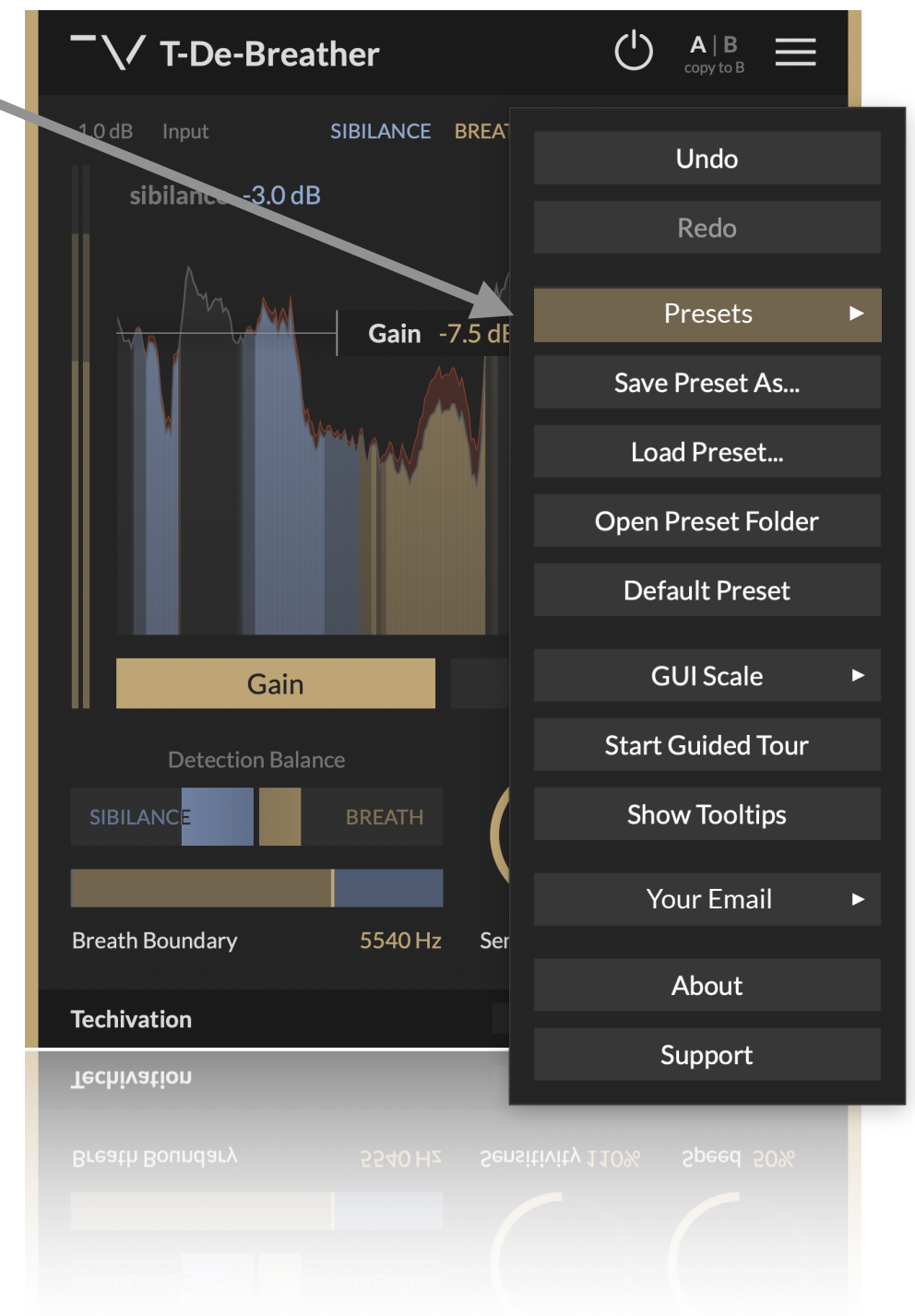
特徴

Presets プリセット

このプラグインでは、右上隅にあるメニューを使用して、独自のカスタムプリセットを保存・読み込むことができます。

この機能により、特定のミキシングニーズに合わせたさまざまな設定に素早くアクセスして適用することができ、ワークフローを効率化するとともに、オーディオ処理作業において一貫した出発点を提供します。

さらに、独自のプリセットを保存しておけば、さまざまなプロジェクトで好みの設定を簡単に呼び出すことができ、オーディオ制作において一貫性のある効率的なアプローチを実現できます。





Techivation T-De-Breather

互換性

プラグインフォーマット: VST, VST3, AU, AAX.

対応プラットフォーム: Mac OS インストーラーは 10.15 (Catalina) 以降をサポートします。

Windows 7以上。64ビットのみ

対応DAW: Ableton Live, Logic Pro, Avid Protools, FL Studio, Cubase, Nuendo, Reaper, などの主要なDAWソフトが発売されている。

活性化

T-De-Breather は、弊社のウェブサイトからライセンスを購入し、弊社の条件に従ってアクティベートする必要があります。弊社からライセンスを購入するとすぐに、プラグインにサインインした後、自動的にTechivationアカウントがプラグインを有効化します。1つのライセンスを購入された方は、同時に最大2台のマシンでプラグインを使用することができます。

サポート

サポートに関するお問い合わせは、techivation.com/supportをご覧ください。

権利の詳細については、techivation.com/terms-conditionsを チェックしてください。

ご不明な点がございましたら、Eメール (info@techivation.com) または techivation@gmail.com までお気軽にお問い合わせください。

インストール

T-De-Breather のライセンスを購入すると、プラグインにサイン インしてアクティベートすることができ、生涯使用することができます。

ソフトウェアのダウンロードはサインアップ/購入時に提供されますが、いつでもTechivation.comで最新のソフトウェアアップデートを入手できます。

ダウンロード後、ファイルを解凍し、お使いのシステムに応じてMacまたはPCのインストーラを選択してください。(警告: PC用のファイルをMacで実行したり、その逆はしないでください)。

- Mac PKGインストーラーをダブルクリックし、指示に従ってください。
- PC/Windows: ファイルの内容を解凍します。セットアップファイルをダブルクリックし、指示に従ってください。



Techivation T-De-Breather

アンインストール場所

macOS

AU: /Library/Audio/Plug-ins/Components/

VST: /Library/Audio/Plug-ins/VST/

VST3: /Library/Audio/Plug-ins/VST3/

AAX: /Library/Application Support/Avid/Audio/Plug-Ins/

その他のデータ: ~/Library/Application Support/Techivation

Windows

VST: Custom path from installer

VST3: \Program Files\Common Files\VST3\

or \Program files(x86)\Common Files\VST3

AAX: \Program Files\Common Files\Avid\Audio\Plug-Ins\

その他のデータ: C:\ProgramData\Techivation 注意: このフォルダ

は隠しファイルなので、まず隠しファイルを見るように設定

を変更してください』。